

ある日、ジョージは、ラスモハマッド岬の南方のシャーク・リーフにいた。このリーフは、200メートルの海底からそりたち、南から流れてきた潮がぶつかり、多くの魚の群れがあつまるところだ。

この舞台の雄大さといったら！ 海面のちかくにはブラフエダイ、深いところにロウニンアジ、もつと深いところにはバラクーダが、それぞれ大きな群れをつくって、旋回しながら泳いでいる。それぞれが、何百ぴきという群れだ。ツバメウオは、潮に流されやすい体形だから、群れは壁にそって泳いでいる。

海中の切りたった崖には、ソフトコーラルと呼ばれる色とりどりの珊瑚がしげり、大きなウチワサンゴが、小さな魚たちのかくれ場所になっている。

そのシャーク・リーフの水深20メートルのところ、二人の若いダイバーが、水中銃で

